

平成27年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 8
III	資料収集	P. 11
IV	資料管理・保全	P. 13
V	調査・研究	P. 14
VI	図書室等の運営	P. 16
VII	教育普及	P. 18
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 34
IX	広報事業	P. 40

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

昨年度3月28日にリニューアルオープンした5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的な展示替えを計24回行ない、常時約2,000点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に行なった。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2015」展(文化庁と共催)、「歴史をつなぐ天璋院の用筆筥」展(公益財団法人徳川記念財団と共催)を開催した。

〔常設展観覧者実績〕

区分	平成27年度(A)	対前年比(A/B)	平成26年度(B)
一般	449,614人	177.6%	253,118人
学生	40,693人	184.3%	22,079人
高校生、都外中学生	74,658人	155.1%	48,131人
65歳以上	125,566人	188.4%	66,634人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	306,397人	154.3%	198,522人
合計	996,928人	169.4%	588,484人
開館日数	313日	139.7%	224日
1日あたり観覧者数	3,185人	121.2%	2,627人

※ 平成26年度は常設展示リニューアル工事に伴い、12月1日より3月27日まで閉室。

(2) 企画展

「展覧会等企画検討委員会」答申に基づき、東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を6回実施した。

① リニューアル記念企画展 特別公開 広重「名所江戸百景」

会 期 平成27年4月1日(土)～5月10日(日)

※全体の会期は、平成27年3月28日(土)～5月10日(日)

会 場 常設展示室 5F企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 常設展示室のリニューアルを記念し、「名所江戸百景」全120枚(2代広重作画、目録を含む)を前期と後期に分けて展示した。「名所江戸百景」は、歌川広重の代表作として位置づけられ、革新的な手法や斬新な構図を特徴とし、彫り・摺りの点でも優れた完成度の高い作品。江戸名所を100枚シリーズで出版する企画は本邦初で、後に「名所江戸百景」に影響を受けて刊行された、他作者による名所絵シリーズもあわせて紹介した。

担 当 江里口友子(都市歴史研究室)

② 発掘された日本列島 2015

会 期 平成 27 年 5 月 30 日(土)～7 月 20 日(月)
会 場 常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催 文化庁、東京都江戸東京博物館・東京新聞、富山県埋蔵文化財センター・北日本新聞社、栃木県教育委員会・下野新聞社、岡山県立博物館・山陽新聞社、岩手県立博物館・岩手日報社、全国史跡整備市町村協議会、全国新聞社事業協議会
協 力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社
内 容 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。今年度は、旧石器時代から近代に至るまでの 19 遺跡の出土品を展示し、併せて東日本大震災の復興事業に伴う発掘調査の成果について紹介した。また、平成 27 年に 50 周年を迎えた全国史跡整備市町村協議会の活動と史跡整備の歴史を振り返った。
地域展では、「汐留遺跡 新橋停車場」と題し、1992 年(平成 4)から 10 年間にわたる発掘調査の成果を紹介し、東京の玄関口であった新橋停車場の姿に迫った。3 階「江戸東京ひろば」内にも特設会場を設け、新橋停車場跡の下の地層から発見された、江戸時代の木樋など、大型遺物も展示した。
担 当 小酒井大悟(事業企画課展示事業係)・眞下祥幸(事業企画課展示事業係)

③ くらべてみよう江戸時代

会 期 平成 27 年 8 月 11 日(火)～9 月 27 日(日)
会 場 常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
内 容 江戸時代に流行した書物や絵画をはじめ、江戸市中で発行された「瓦版」や「見立番付」などから、江戸っ子たちがどのような情報を持ち、何に興味を持っていたのかを紹介した展覧会。夏休み期間の展覧会であることから、会場内に、さわったり、持ち上げたりできる体験模型を設置し、子供たちが江戸時代の道具の重さや手触りを体験できるようにした。また、番付をつくるワークショップも開催した。
場 所 常設展示室 5 F 企画展示室
担 当 眞下祥幸(事業企画課展示事業係)・長屋さくら(事業企画課展示事業係)

④ 市民からのおくりもの 2015－平成 25・26 年度 新収蔵品から－

会 期 平成 27 年 10 月 20 日(火)～12 月 6 日(日)
会 場 常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催 東京都 東京都江戸東京博物館
内 容 博物館が近年新たに収蔵した資料を公開する展覧会。13 回目にあたる今回は、平成 25・26 年度の 2 年分の資料を紹介した。平成 25 年度は約 1800 点、26 年度は約 6500 点の資料を収蔵したが、その中から一部を厳選して展示した。寄贈者に謝意を表するとともに博物館の資料収集活動に対する都民の理解を深める機会とした。
担 当 事業企画課資料係(熊谷紀子、益田茂、栗屋朋子、畑尚子、落合則子、西村直子、岡真理香)

⑤ 歴史をつなぐ天璋院の用筆筥

会 期 平成 28 年 1 月 2 日(土)～2 月 21 日(日)
会 場 常設展示室 5 階 5F 企画展示室
主 催 東京都 東京都江戸東京博物館、公益財団法人徳川記念財団

内 容 公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川家ゆかりの品々を紹介する展覧会。今回は13代将軍正室となった天璋院所用の「梨子地笥牡丹蝶尾長鳥文蒔絵用筆筒」に収められていた品々を展示した。江戸から東京への激動期における徳川将軍家の動向を証言する資料群として、はじめてその全貌に迫った。

担 当 野本禎司（公益財団法人徳川記念財団）・行田健晃（公益財団法人徳川記念財団）
小酒井大悟（事業企画課展示事業係）・眞下祥幸（事業企画課展示事業係）

⑤ 近代百貨店の誕生 三越呉服店

会 期 平成28年3月19日(土)～5月15日(日)

会 場 常設展示室5階 5F 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

協 力 株式会社三越伊勢丹

内 容 日本における近代百貨店の成立を、三越呉服店を題材に、江戸東京博物館が所蔵する錦絵、絵葉書、写真、ポスターなどでたどった展覧会。明治維新後に上野において明治政府主導で開催された内国勸業博覧会や、博覧会が終了した後に陳列販売方式で一世を風靡した勸工場などが百貨店へと姿を変えていくその変遷を紹介した。

担 当 田中裕二（管理課事業推進係）

2 分館（江戸東京たてもの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

区 分	平成27年度(A)	対前年比(A/B)	平成26年度(B)
一 般	98,830人	41.6%	237,144人
大学生・専門学校生	11,147人	24.2%	45,943人
高校生、都外中学生	3,194人	30.9%	10,321人
65歳以上	33,906人	82.0%	41,330人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	99,970人	59.7%	167,419人
合 計	247,047人	49.1%	502,157人
1日あたり観覧者数	794人	49.5%	1,604人

① 収蔵建造物の展示

・30棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。

- ・季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。
- ・吉野家、奄美の高倉、天明家が、小金井市指定有形文化財（建造物）に指定された。

② 情景再現事業

季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてものライトアップ」などの各イベントを行った。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなどの遊びを再現。
 期 間 平成 27 年 5 月 4 日（月・祝）・5 日（火・祝）
 会 場 園内全体
 参加者数 9,945 人（当日来園者）

・小暑のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むなど、初夏の風情を再現。
 期 間 平成 27 年 7 月 4 日（土）・5 日（日）
 会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど
 参加者数 1,100 人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現。
 期 間 平成 27 年 8 月 1 日（土）・2 日（日）
 会 場 園内全域
 参加者数 11,518 人（当日来園者）

・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験や見学をする。
 期 間 平成 27 年 10 月 10 日（土）・11 日（日）
 会 場 東ゾーン
 参加者数 4,659 人（当日来園者）

・紅葉とたてものライトアップ

内 容 園内の建造物にやさしい光を当て、夜のたてもの園の魅力を伝える。
 期 間 平成 27 年 11 月 21 日（土）・22 日（日）・23 日（月・祝）
 会 場 園内全域
 参加者数 9,460 人（当日来園者）

・正月飾りづくり

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座
 期 間 平成 27 年 12 月 12 日（土）・13 日（日）
 会 場 東ゾーン
 参加者数 1,090 人（当日来園者）

・正月の昔あそび

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など正月ならではの催しを実施。
 期 間 平成 28 年 1 月 5 日（火）・6 日（水）
 会 場 園内全体
 参加者数 2,312 人（当日来園者）

・たてもの園フェスティバル

内 容 開園記念日に、「けんちく体操」やスタンプラリーなど建造物に親しむ講座等を実施。
 期 間 平成 28 年 3 月 28 日（月）

会 場 園内全体
参加者数 3,845人(当日来園者)

・伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 東京手描友禅、三味線、江戸木彫刻、江戸筆、組紐、染色補正、漆塗 扇子、額縁、組子建具、つりしのぶ、銀細工、表具、簾製作、木工 襖縁、和傘、東京銀器、江戸木箸、押絵羽子板、村山大島紬、型染、江戸凧

期 間 平成27年4月～平成28年3月のうち24日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・綱島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、盆、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、大根干し、小正月・繭玉飾り、節分

期 間 平成27年4月～平成28年3月

会 場 江戸東京たてもの園 綱島家

③復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳の替え工事及び屋根瓦の劣化調査等を行った。

④教育普及事業【ミュージアムトーク】

毎月1回(第4土曜日)に随時実施。

学芸員による復元建造物や特別展についての解説。

[内 容]

4月25日(土)：武蔵野郷土館と下布田遺跡 松井かおる(学芸員)

5月23日(土)：川野商店 田中裕二(学芸員)

6月27日(土)：特別展「モダン都市の文学誌」 湯川説子(学芸員)

7月28日(土)：花市成花店 丸山はるか(学芸員)

8月22日(土)：東京郷土資料陳列館ものがたり

—東京の地域博物館 事始め— 松井かおる(学芸員)

9月26日(土)：建物と夏 米山勇(研究員)

10月24日(土)：奄美の高倉 阿部由紀洋(学芸員)

11月28日(土)：東京郷土資料陳列館と史蹟名勝天然記念物 松井かおる(学芸員)

12月19日(土)：デ・ラランデ邸 早川典子(学芸員)

1月23日(土)：山の手住宅 早川典子(学芸員)

2月27日(土)：二・二六事件と高橋是清邸 松井かおる(学芸員)

3月26日(土)：和洋折衷の極(きわみ)～三井八郎右衛門邸～ 米山勇(研究員)

3月28日(月)：二・二六事件と高橋是清邸 松井かおる(学芸員)

3月28日(月)：特別展「小金井の桜～春の江戸東京名所めぐり～」

丸山はるか(学芸員)

⑤ 教育普及事業【ミュージアムセミナー たてもの園セミナー】

11月5日(木) 移築を考える1「前川さんすべて自邸でやってたんですね」

ー建築家 前川國男のアイデンティティー

～若き日の深き感動は、生涯を貫き通す軸となる～

講師：中田 準一 参加者：71名

11月19日(木) 移築を考える2 江戸東京たてもの園への移築復元

ー近年の事例を通してー

講師：田中 昭之 参加者：60名

11月26日(木) 移築を考える3 “移築”が切り拓く建築の世界

講師：平山 育男 参加者：46名

⑥ 教育普及事業【スクールプログラム】

「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 46校 3,750人

・職場体験学習

参加人数 4校 12人

⑦ 教育普及事業【子供向け教育普及事業】

・情景再現事業の中で子供向け教育普及事業を実施した。

「七夕のつどい」 折り紙教室 96人

「体験！発見！職人さん」 大工体験

⑧ その他の事業

【ビジターセンター展示】

(1) 小金井公園の桜写真展

平成27年3月25日(火)～5月24日(日) 8,199人

平成28年3月22日(火)～5月22日(日) 11,359人

(2) 小金井薪能写真展

平成27年8月11日(火)～23日(日) 879人

(3) 東京くらしの木 檜と杉展

平成28年1月26日(火)～3月6日(日) 3,489人

【東京大茶会2015】

平成27年10月3日(土)・4日(日) 入園者数11,126人

【正月イベント】

平成28年1月2日(土)・3日(日) 入園者数10,339人

(2) 展覧会
特別展

- ・ 下布田遺跡－武蔵野の歴史と考古学－

会期：平成 27 年 4 月 1 日（水）～5 月 17 日（日）

入園者数：48,820 人

（平成 27 年度分会期：3/28～3/ 31 全会期入園者数：64,079 人）

江戸東京たてもの園の前身である武蔵野郷土館の歴史と、同館が行った発掘調査の一例として下布田遺跡の調査概要と出土物を紹介。

- ・ モダン都市の文学誌～描かれた浅草・銀座・新宿・武蔵野～

会期：平成 27 年 6 月 2 日（火）～7 月 20 日（月・祝）

入園者数：19,566 人

文学作品に登場する浅草、銀座、新宿、武蔵野の各地域の特徴的な建造物や風景を「江戸博コレクション」の近代版画、絵葉書を多く活用して紹介。作品の一節を読みながら視覚的に時代の移り変わりを理解できる展示とした。

- ・ 東京郷土資料陳列館物語－東京の地域博物館事始め－

会期：平成 27 年 7 月 28 日（火）～平成 28 年 2 月 21 日（日）

入園者数：139,122 人

戦前に誕生した東京市の博物館施設・東京郷土資料陳列館資料は、たてもの園に引き継がれている。この中から、考古・写真・絵画資料等を展示するとともに、史跡名勝天然記念物の保護事業を行った同館の活動などを紹介した。

- ・ 小金井の桜

会期：平成 28 年 3 月 8 日（火）～3 月 31 日（日）

入園者数：23,076 人

（平成 28 年度分会期：4/1～5/8 全会期入園者数：68,380 人）

桜にちなんだ「江戸博コレクション」の錦絵や工芸品を活用し、開花の季節と連動して小金井市の文化施設でのチラシ配布など、地域との広報協力も行った。

II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、各種チケットの販売、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成27年度の特別展入館者数は、延べ253日間の会期に計632,230人の観覧者を迎えることができた。

1 徳川家康没後400年記念特別展「大 関ヶ原展」

期 間	平成27年4月1日(水)～平成27年5月17日(日) 延べ44日間 *全体の会期は、平成27年3月28日(土)～平成27年5月17日(日) 延べ48日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、テレビ朝日、BS朝日、博報堂DYメディアパートナーズ
内 容	2015年は徳川家康没後400年目であると同時に、豊臣家が滅亡した大坂合戦から400年となった。そのため戦国時代から江戸時代にかわる節目として徳川家康を中心とした企画が期待されていた。さらに、近年、研究の進展により豊臣秀吉没後から大坂合戦に至る時代があらためて注目され、江戸幕府が必然ではない徳川家と豊臣家の二頭体制を構想するなど複雑な社会が主張され、かつその時期の闊達な文化が注目されていた。そこで、このような社会情勢に先駆けて、江戸に幕府が開かれるに至った状況はどのようなであったかの展示をした。
観 覧 料	一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、小中高生・65歳以上680円
入場者数	201,962人(1日平均 4,590人)
担 当	齋藤 慎一 (事業企画課 展示企画係)

2 2015年NHK大河ドラマ特別展「花燃ゆ」

期 間	平成27年6月4日(木)～平成27年7月20日(月・祝) 延べ41日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
協 賛	ハウス食品グループ本社、みずほ銀行
内 容	本展は平成27年1月から始まった、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」と連動して開催したものである。ドラマは、幕末から明治維新时期という激動の時代を生きた思想家、吉田松陰の妹・杉文の生涯を描いた。 展覧会では、吉田松陰や妹・杉文ゆかりの資料、また、同時代の歴史資料などを展示し、長州藩士たちの人物像と、彼らが生きた幕末から明治維新时期までの激動期を紹介した。
観 覧 料	一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、高校生・65歳以上680円
入場者数	49,961人(1日平均 1,219人)
関連イベント	(1) NHKネットクラブ特別鑑賞会(300組600名)

日時：6月15日（月）1回目 11時～、2回目 午後1時30分～

場所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室

参加費：無料（事前応募・抽選）

参加者数：858人

(2) みずほプレミアム会員内覧会（計700組1,400名）

日時：6月22日（月）9時30分～、11時30分～、12時30分～、13時30分～、14時30分～、15時30分～。

場所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室

参加費：無料（事前応募・抽選）

参加者数：977人

担当 田原 昇（事業企画課 展示企画係）

3 「徳川の城 ～天守と御殿～」展

期間 平成27年8月4日（火）～平成27年9月27日（日）延べ51日間

会場 1階 特別展示室

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

内容 かつて東京の中心にあった江戸城。徳川幕府の本拠地だったこの城は、日本史上最大の規模を誇る「天下一の城」だ。しかし、幕末の火災によってほとんどが焼失してしまい、NHKでは研究者の協力のもと、5年の歳月をかけて江戸城の中核・本丸御殿を細部まで映像で復元。本展ではその映像による実物大復元等を駆使して、江戸城を体感する展示を行った。

また江戸城ほか徳川将軍家が関連した各地の城館について、天守および御殿の資料・作品を展示し、江戸時代の城について考えた。

城のイメージを実感・体感することを目的とし、小中学生および歴史ファンに期待された展覧会となった。

観覧料 一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、小中高校生・65歳以上680円

入場者数 114,388人（1日平均 2,243人）

関連イベント

(1) JCOM親子自由研究デー（各400名）

日時：8月17日（月）

第1部 9時30分～11時、第2部 11時15分～12時45分、第3部 13時～14時30分

第4部 14時45分～16時15分

会場：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室

参加費：無料（事前応募・抽選）

参加者数：621人

(2) JCOM女子会DAY

日時：9月9日（水）19時～21時

会場：東京都江戸東京博物館

参加費：無料

参加者数：200人

参加費：無料（事前応募・抽選）

参加者数：101人

担当 齋藤 慎一（事業企画課 展示企画係）

4 「浮世絵から写真へ ― 視覚の文明開化 ―」展

期 間	平成27年10月10日（土）～平成27年12月6日（日）延べ50日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
内 容	浮世絵と写真というこれまでにない新しい切り口でのテーマで、当館の所蔵資料を活かしつつ、新発見資料も盛り込んだ約260件の作品により、江戸東京博物館に相応しい「幕末」と「明治」のふたつの時代にまたがる時期に生まれた珍奇で多彩な表現を紹介。時代の転換期に、浮世絵に代表される絵と、幕末期に日本に渡来した写真が、お互いにどのように影響を与えあったか、またそれによりどのような表現が生み出されたかを実証し、日本文化の近代化の一面を明らかにした。
観 覧 料	一般1,350円、大学・専門学校生1,080円、小中高校生・65歳以上680円
入場者数	40,585人（1日平均 812人）
担 当	岡塚 章子（事業企画課 展示企画係）、我妻 直美（事業企画課 展示企画係）

5 日伊国交樹立150周年記念特別展「レオナルド・ダ・ヴィンチ ― 天才の挑戦」展

期 間	平成28年1月16日（土）～平成28年3月31日（木）延べ67日間 *全体の会期は、平成28年1月16日（土）～4月10日（日）延べ76日間
会 場	1階 特別展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション
内 容	2016年は、日伊国交樹立150周年（修好通商条約締結150年）にあたり、本展はその記念事業として開催した。 レオナルド・ダ・ヴィンチ『鳥の飛躍に関する手稿』（トリノ王立図書館所蔵）は、レオナルドファンのあいだで最も有名な直筆ノートのひとつであり、日本初公開であった。また、円熟期の傑作「糸巻きの聖母」も日本初公開となった。 観察し素描することによって自然や人間、宇宙の真理に近づこうとしたレオナルドは、建築や都市造りにも興味を持ち、「理想都市」を追い求め、都市計画も構想した。展覧会ではレオナルドの素描、レオナルデスキ（レオナルド派）の絵画作品も出品し、彼の思考を探った。
観 覧 料	一般 1,450円、大学・専門学校生 1,160円、小中高校生・65歳以上 730円
入場者数	225,334人（1日平均 3,363人）

関連イベント

- (1) 大和ハウス工業特別鑑賞会
日時：2月29日（月）12時～17時
場所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室
参加費：無料（招待券配布：2,672枚）
参加者数：680人
- (2) 毎日デジタル会員内覧会
日時：3月4日（月）18時～20時30分
場所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室
参加費：無料（事前応募・抽選）
参加者数：146人
- (3) みずほ銀行特別鑑賞会
日時：3月14日（月）9時30分～19時30分

場所：東京都江戸東京博物館 1階 特別展示室

参加費：無料(事前応募・抽選)

参加者数：2,327人

担 当 齋藤 慎一 (事業企画課 展示企画係)

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成27年度は、資料収蔵委員会(収集部会・評価部会)を2回開催し、第1回目(11月6日)では購入資料を、第2回目(1月28日)では主に寄贈資料を付議した。

(1) 平成27年度資料収集点数 (単位：点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	140	406	1	547
図 書 資 料	596	0	4,372	4,968
映像音響資料	3	30	0	33
合 計	739	436	4,373	5,548

(2) 主な収集資料(寄贈資料より)

分 類	資 料 名
工芸品	長板中形浴衣地 京追掛紗綾地蛤文 (清水幸太郎/型付)
絵画	隅田川船遊図屏風 (狩野波信/画)
絵画	東京戦災スケッチ 全159枚
絵画・文書類	原羊遊斎関係資料 原更山寿像図 他計7点
書跡	書画 達磨図 他計2点(高橋是清/書)
印刷物	朝日新聞 校正刷
文書類	起請文前書(将軍代替につき誓詞) 他計3点
文書類・生活民俗・静止画 他	龍土軒関係資料 計52点
生活民俗	学童疎開関係資料 計31点
動画・静止画	東京オリンピック映像・写真(師岡宏次/撮影) 計13点

2 資料制作

「火事図巻」(当館蔵)の1件の複製資料を製作した。

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

[主な購入資料]

分類	資料名
工芸品	亀甲花菱文地三葉葵紋姿見鏡 (付梨子地葵紋散松菱梅花文様蒔絵鏡巢)
工芸品	松蒔絵印籠 他計7点 (原羊遊斎/蒔絵)
工芸品	紫縮緬地御所解模様小袖
絵画	ガラス絵 富士山風景 他 計2点
絵画	団扇絵 名所花兄弟 御殿山の桜
典籍	青楼美人合姿鏡 全3冊
印刷物	鉄道省観光ポスター 宮島 (川瀬巴水/画)
文書類	盛岡藩南部家外桜田上屋敷・麻布下屋敷図面
文書類	佐藤与之助宛勝海舟書簡貼交
文書類	浅草公園関係資料 計6件

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

109点の修理を行った。

〔内 訳〕

資料分類	点数	資料分類	点数
標本資料	108	図書資料	1
絵画	1	図書	1
工芸品	2		
文書類	90		
印刷物	10		
書跡	2		
典籍類	3		

(2) 資料の収蔵

平成28年3月末日現在、602,500点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	319,665点
映像音響資料	42,047点
図書資料	240,788点

(3) 資料の貸出

平成28年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、21件（150点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

2件、4,192点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業（常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等）への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム（資料情報システム）の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

- (1) 年間特定研究「隅田川流域の歴史と文化 隅田川流域」
研究成果はシンポジウム「隅田川流域を考える」、えどはくカルチャー等で発表した。
- (2) 共同研究
 - ① 比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）
共同研究会 平成28年3月20日 江戸東京博物館
澤井浩一「大阪の祭における神饌と食-淀川下流域の行事を中心に-」
杓沢 博行「日記にみる江戸町人の行事食」
豆谷浩之「大阪歴史博物館の調査研究事業」
 - ② 在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）
小林淳一・小山周子
- (3) 基盤研究
 - ① 市川寛明 米屋田中家文書の研究
 - ② 小山周子 館蔵錦絵の調査
 - ③ 杓沢博行 徳大寺公弘写真帖
 - ④ 朴 美姫 美人画目録の作成

2 江戸東京博物館シンポジウムの開催

「隅田川流域の考える -歴史と文化-」

開催日 平成28年3月5日（土）

会場 1階 ホール

参加人数 320人

報告

杓沢博行「隅田川流域を考える」

竹内 誠「聖空間としての隅田川」

小山周子「隅田川流域の料理茶屋における文化活動について」

福澤徹三「スポンサーから見る隅田川の花火-江戸から現代まで-」

陣内秀信「セーヌ川、テムズ川との比較の視点から見た隅田川の特質」

3 書籍の編集・刊行

① 『調査報告書 第30集』の刊行

名称 『浅草地域のあゆみ』

発行年月日 平成27年3月20日

発行部数 1,000部

構成

1. カラー口絵

2. 論考

竹内 誠「中・近世の浅草地域を俯瞰する」

伊藤宏之「中世の浅草地域」

田中麻衣「寺町浅草の形成過程-明暦の大火前後を中心として-」

小澤 弘「浅草寺と門前町」

市川寛明「猿若町の成立」

② 『調査報告書 第31集』の刊行

名 称 『史料で読む 江戸の園芸文化』

発行年月日 平成28年3月30日

発行部数 1,000部

構 成

図 版

刊行にあたって

凡 例

序 章 外国人のみた花の都 江戸

第1章 田園に造られた都市

第2章 花開く江戸の園芸文化

第3章 園芸流行の立役者と文化の爛熟

終 章 明治維新と園芸文化

参考文献目録

掲載史料目録

③ 『東京都江戸東京博物館紀要 第6号』の刊行

名 称 『東京都江戸東京博物館紀要』第5号

発行年月日 平成28年3月20日

発行部数 1,500部

構 成

口 絵

序 言

論 稿

1. 沓沢博行「明治中期における華族たちの写真趣味とその広がり—徳大寺公弘の写真帖に見るアマチュア写真家の活動分析—」
2. 小山周子「常設展リニューアルに伴う銀座煉瓦模型変更に係る調査報告」
3. 栗原智久「江戸図 デジタルアーカイブ調査」
4. 行吉正一「東京を描いた詩について」
5. 田中裕二・米山勇「平成26年度 英国野外博物館への現地調査報告」
6. 松井かおる「江戸東京たてももの園高橋是清邸における歴史展示 実施報告」
7. 早川典子「廣田理太郎邸に関する資料の紹介」
8. 落合則子「明治十年代 川村家の家計日記—「川村清雄関係資料」から—」
9. 市川寛明「人宿米屋田中家の家内組織と奉公人請負体制—「歳暮祝儀年中骨折御用勤者称美医療礼給金」の紹介—」
10. 岡崎寛徳「日本橋の沽券図と四谷の人別調—大倉精神文化研究所の江戸町方史料—」

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。閉室期間中（27年12月15日（火）～同年12月20日（日））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	39,142人
閉架図書請求数	3,053冊
マイクロフィルム請求数	239件
図書複写申請数（モノクロ）	10,757枚
図書複写申請数（カラー）	1,289枚
マイクロフィルム複写申請数	2,816枚
レファレンス対応数	2,730件
インフォメーション対応数	2,269件
WEB-OPAC検索利用数	1,147,540件
ALC検索利用数	117,974件

2 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成27年7月18日（土）～8月30日（日）

対応人数 755人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を行った。

展示テーマ	会 期	担 当
江戸博の建物-なぜこのかたち？	1月6日～5月10日	小宮山めぐみ（司書）
花燃ゆ・NHK 大河ドラマ江戸博展覧会の軌跡～幕末編～	6月27日～9月27日	栗原智久（司書）
赤瀬川源平さん	11月7日～1月31日	式 淳子（司書）
過激にして愛嬌あり-宮武外骨の雑誌	2月10日～4月24日	楯石もも子（司書）

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会期	担当
特別展「大関ヶ原」	3月28日～5月17日	小宮山めぐみ（司書）
特別展「花燃ゆ」	6月4日～7月20日	栗原智久（司書）
特別展「徳川の城～天守と御殿」	8月4日～9月27日	楯石もも子（司書）
特別展「浮世絵から写真へ」	10月10日～12月6日	小宮山めぐみ（司書）
特別展「レオナルド・ダ・ビンチ 天才の挑戦」	1月16日～4月10日	上杉 海（司書）
企画展「特別公開広重「名所江戸百景」	3月28日～7月20日	井上美奈子（司書）
企画展「発掘された日本列島2015」	5月30日～7月20日	上杉 海（司書）
企画展「くらべてみよう江戸時代」	10月7日～11月30日	式 淳子（司書）
企画展「天璋院の用筆筒」	1月2日～2月21日	栗原智久（司書）
企画展「近代百貨店の誕生」	3月19日～5月15日	楯石もも子（司書）
特集「桜～お花見に行こう」	3月28日～5月10日	井上美奈子（司書）
特集「江戸の食」	5月11日～8月30日	小宮山めぐみ（司書）
特集「学童疎開」	8月4日～9月27日	井上美奈子（司書）
特集「和綴じ本・製本が分かる本」	8月4日～9月27日	楯石もも子（司書）
特集「写真の魅力発見！」	10月6日～12月13日	小宮山めぐみ（司書）
特集「赤瀬川源平さん」	11月7日～1月31日	式 淳子（司書）
特集「追悼水木しげる先生」	12月1日～12月13日	井上美奈子（司書）
特集「隅田川流域を考える」	3月5日～3月31日	井上美奈子（司書）

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計92講座を開催した。

期 間	平成27年4月9日（木）～平成28年3月23日（水）
会 場	江戸東京博物館（ホール、会議室）
受 講 料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）
受講者数	12,989人
講 座 数	92講座

春講座 計 24 回(3,628 人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講 座 名	講 師	参 加 人 数
1	4月9日(木)	江戸時代の花と緑を読むⅦ①	田中実穂	73
2	4月10日(金)	関ヶ原① 「大 関ヶ原展」のみどころ	齋藤慎一	166
3	4月16日(木)	浮世絵師列伝Ⅲ①	小澤弘	153
4	4月17日(金)	関ヶ原② 石田三成	太田浩司	194
5	4月21日(火)	算額ってなんですか?①	深川英俊	138
6	4月23日(木)	失われた江戸東京の建築①	米山勇	182
7	4月24日(金)	関ヶ原③ 小山評定をめぐる史料と由緒	尾上仁美	175
8	4月28日(火)	算額ってなんですか?②	深川英俊	125
9	4月30日(木)	浮世絵師列伝Ⅲ②	小澤弘	172
10	5月1日(金)	関ヶ原④ 関ヶ原合戦に至るまで	谷口央	226
11	5月7日(木)	江戸時代の花と緑を読むⅦ②	田中実穂	62
12	5月8日(金)	関ヶ原⑤ 徳川家康と洋時計	落合偉洲	142

13	5月12日(火)	プレ古文書講座「市中取締類集」を読む①	市川寛明	113
14	5月14日(木)	浮世絵師列伝Ⅲ③	小澤弘	161
15	5月19日(火)	「市中取締類集」にみる江戸時代の人材派遣業①	市川寛明	111
16	5月26日(火)	プレ古文書講座「市中取締類集」を読む②	市川寛明	107
17	5月28日(木)	浮世絵師列伝Ⅲ④	小澤弘	197
18	6月2日(火)	「市中取締類集」にみる江戸時代の人材派遣業②	市川寛明	103
19	6月4日(木)	失われた江戸東京の建築②	米山勇	189
20	6月9日(火)	花燃ゆ① 「花燃ゆ」の時代 幕末明治維新史	木村幸比古	205
21	6月11日(木)	江戸時代の花と緑を読むⅦ③	田中実穂	59
22	6月16日(火)	花燃ゆ② 萩からみた吉田松陰の生涯	道迫真吾	230
23	6月23日(火)	花燃ゆ③ 群馬時代の杉文(楫取美和子)	手島 仁	161
24	6月25日(木)	失われた江戸東京の建築③	米山 勇	184

夏講座 計24回(3,444人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
25	7月7日(火)	プレ古文書講座Ⅱ「市中取締類集」を音読する①	市川 寛明	73
26	7月9日(木)	拾い読み『旅行用心集』①	北原 進	193
27	7月14日(火)	プレ古文書講座「市中取締類集」を音読する②	市川 寛明	70
28	7月16日(木)	拾い読み『旅行用心集』②	北原 進	144
29	7月17日(金)	江戸時代の花と緑を読むⅧ①	田中 実穂	61
30	7月23日(木)	拾い読み『旅行用心集』③	北原 進	157
31	7月30日(木)	江戸町人の明治維新 一書役徳兵衛の日記から①	近松 鴻二	260
32	8月5日(水)	「市中取締類集」にみる江戸時代の人材派遣業Ⅱ①	市川 寛明	124

33	8月6日(木)	和楽器を体験！ 水道管尺八	田嶋 謙一 川村 葵山	19
34	8月11日(火)	和綴じ本を作ってみよう！（午前コース）	楯石もも子	17
35	8月11日(火)	和綴じ本を作ってみよう！（午後コース）	楯石もも子	19
36	8月14日(金)	江戸時代の花と緑を読むⅧ②	田中 実穂	62
37	8月19日(水)	「市中取締類集」にみる江戸時代の人材派遣業Ⅱ②	市川 寛明	112
38	8月21日(金)	徳川の城展関連講座①「江戸幕府と城館」	齋藤 慎一	345
39	8月26日(水)	版画の中の東京Ⅰ①開化錦絵—明治の新名所	小山 周子	117
40	8月27日(木)	江戸町人の明治維新 一書役徳兵衛の日記から—②	近松 鴻二	231
41	8月28日(金)	徳川の城展関連講座②「名古屋城築城とその構造」	原 史彦	294
42	9月4日(金)	徳川の城展関連講座③「徳川大坂城」	中井 均	306
43	9月9日(水)	刷物で見る江戸東京興行史Ⅰ①軽業・曲芸	沓沢 博行	90
44	9月11日(金)	徳川の城展関連講座④「江戸城本丸御殿の空間構成」	田原 昇	278
45	9月16日(水)	版画の中の東京Ⅰ②小林清親—光線画とは？	小山 周子	114
46	9月17日(木)	江戸町人の明治維新 一書役徳兵衛の日記から—③	近松 鴻二	208
47	9月18日(金)	江戸時代の花と緑を読むⅧ③	田中 実穂	58
48	9月30日(水)	刷物で見る江戸東京興行史—②珍獣	沓沢 博行	92

秋講座 計20回(2,346人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
49	10月8日(木)	浮世絵師列伝Ⅳ①北尾政演(山東京伝)—挿絵も戯作も	小澤 弘	185
50	10月22日(木)	浮世絵師列伝Ⅳ②窪俊満—摺物絵の達人	小澤 弘	186
51	10月23日(金)	江戸時代の花と緑を読むⅨ①植木屋が愛した紅葉	田中 実穂	56

52	11月5日(木)	江戸東京たてもの園セミナー 移築を考える①「前川さんすべて自邸でやってたんですね」 ー建築家 前川國男のアイデンティティー ～若き日の深き感動は、生涯を貫き通す軸となる～	中田 準一	71
53	11月6日(金)	江戸時代の花と緑を読むIX②紅葉の名所 ～海晏寺と瀧野川	田中 実穂	57
54	11月10日(火)	たてもの鑑賞基礎の基礎①骨組みを見る ー日本建築と西洋建築、柱と横材	米山 勇	194
55	11月11日(水)	新しくなった常設展示の楽しみ方 模型編①玉川上水流域模型	眞下 祥幸	91
56	11月19日(木)	江戸東京たてもの園セミナー 移築を考える②江戸東京たてもの園への移築復元 ー近年の事例を通してー	田中 昭之	60
57	11月20日(金)	特別展「浮世絵から写真へ」関連講座①浮世絵と写真 いいとこ取りの面白さ	我妻 直美	112
58	11月26日(木)	江戸東京たてもの園セミナー 移築を考える③“移築”が切り拓く建築の世界	平山 育男	46
59	11月27日(金)	特別展「浮世絵から写真へ」関連講座②写真？それとも油絵？ 幻の技法“写真油絵”	岡塚 章子	107
60	12月2日(水)	新しくなった常設展示の楽しみ方 模型編②幕末の江戸城一本丸・二丸御殿模型ー	田原 昇	115
61	12月3日(木)	浮世絵師列伝IV③歌川豊国ー役者絵の名手	小澤 弘	202
62	12月4日(金)	江戸時代の人材派遣業Ⅲ①	市川 寛明	122
63	12月9日(水)	新しくなった常設展示の楽しみ方 模型編③銀座煉瓦街模型	小山 周子	70
64	12月11日(金)	江戸時代の花と緑を読むIX③「械品便覧」を読む	田中 実穂	43
65	12月15日(火)	たてもの鑑賞基礎の基礎②開口部を見る ー窓・扉・アーチなど	米山 勇	192
66	12月16日(水)	新しくなった常設展示の楽しみ方 模型編④凌雲閣・電気館・六区活動写真街各模型	沓沢 博行	67
67	12月17日(木)	浮世絵師列伝IV④葛飾北斎?天才浮世絵師	小澤 弘	254
68	12月18日(金)	江戸時代の人材派遣業Ⅲ②	市川 寛明	116

新春講座 24回(3,571人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
69	1月12日(火)	版画の中の東京Ⅱ①清親と広重ー「武蔵百景」より	小山 周子	122

70	1月20日(水)	刷物で見る江戸東京興行史Ⅱ①細工見世物・生人形	沓沢 博行	64
71	1月21日(木)	長崎学連携講座「江戸天下祭と長崎くんち」	本馬 貞夫 久留島 浩	163
72	1月22日(金)	企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筥」関連講座 ① 「天璋院の用筆筥」展の見どころ	野本 禎司	124
73	1月27日(水)	たてもの鑑賞基礎の基礎Ⅱ①間取りを見る	米山 勇	210
74	1月28日(木)	近代の盛り場考 一明治期の上野公園とその周辺をめぐる盛り場の変遷一	田中 裕二	91
75	1月29日(金)	江戸町人の明治維新Ⅱ①	近松 鴻二	184
76	2月5日(金)	企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筥」関連講座 ② 大奥文化の余香一 天璋院用筆筥の収蔵資料から一	田中 潤	140
77	2月9日(火)	版画の中の東京Ⅱ②『風俗画報』の東京	小山 周子	110
78	2月12日(金)	企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筥」関連講座 ③ 用筆筥資料にみる天璋院とその周辺	藤田 英昭	113
79	2月17日(水)	刷物で見る江戸東京興行史Ⅱ②写し絵・パノラマ・活動写真	沓沢 博行	67
80	2月18日(木)	宿場の古文書を読む①	北原 進	170
81	2月23日(火)	江戸時代の人材派遣業Ⅳ①	市川 寛明	105
82	2月24日(水)	たてもの鑑賞基礎の基礎Ⅱ②屋根・小屋組・組物を見る	米山 勇	202
83	2月25日(木)	宿場の古文書を読む②	北原 進	179
84	2月26日(金)	江戸町人の明治維新Ⅱ②	近松 鴻二	171
85	3月1日(火)	江戸の路上観察 一 熙代勝覧を例に一①	江里口友子	218
86	3月3日(木)	宿場の古文書を読む③	北原 進	153
87	3月8日(火)	江戸の路上観察 一 熙代勝覧を例に一②	江里口友子	199
88	3月9日(水)	ある名主家の歴史 一江戸大伝馬町名主馬込家文書を読み解く一①	高山 慶子	172
89	3月15日(火)	江戸時代の人材派遣業Ⅳ②	市川 寛明	104
90	3月16日(水)	ある名主家の歴史 一江戸大伝馬町名主馬込家文書を読み解く一②	高山 慶子	136
91	3月18日(金)	江戸町人の明治維新Ⅱ③	近松 鴻二	160
92	3月23日(水)	たてもの鑑賞基礎の基礎Ⅱ③壁・床・天井を見る	米山 勇	214

2 伝統芸能フォーラム

伝統芸能の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、常設展リニューアルオープン記念フォーラム「伝統文化の海外発信と異文化理解」、及び能楽公演を開催した。

(1) 「能楽公演」公益財団法人能楽協会の企画制作による公演※英語字幕付

期 日 平成 28 年 1 月 23 日 (土)
会 場 江戸東京博物館 1 階ホール
主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内 容 金春流「熊坂」
第一部 解説・謡体験
第二部 能 観世流「熊坂」
出演：高橋 忍【シテ】、辻井八郎【地頭】、宝生欣哉【ワキ】他
入場料 2,000 円 (高校生以下 1,000 円)
参加者数 294 人

(2) 「浪曲公演」有限会社 武春堂の企画制作による公演

期 日 平成 28 年 1 月 24 日 (日)
会 場 江戸東京博物館 1 階ホール
主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
内 容 玉川奈々福、沢村豊子、影絵パフォーマンス ジャック・リー・ランダル
入場料 2,000 円 (高校生以下 1,000 円)

3 国際交流事業

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市立歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院 (平成 18 年度より参加) の 4 館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成 14 年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

今年度の第 14 回日中韓国際シンポジウムは、平成 27 年 10 月 28 日・29 日、当館において開催された。今回はシンポジウムの全体テーマ「文化発信拠点としての博物館」のもと、①都市の祭典と博物館、②都市博物館同士のネットワーク、③持続する社会と博物館、の 3 つのサブテーマをもうけ、計 6 本の論稿が発表された。今回のシンポジウムにあわせ、これまでのシンポジウムを中心とした交流に加え、今後は展覧会交流、人的交流もあわせて行っていくことを確認する「覚書」を締結した。

また北京首都博物館、ソウル歴史博物館との人的交流の一環として、国際シンポジウムとは別に学芸員の派遣・受入を実施した。

4 えどはく寄席

日 程 来館者数の多い時期に開催日を絞り、新緑寄席・向日葵寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィーク・正月寄席・ファミリー寄席を実施した。今年度も 1 日あたりの開催回数には 2 回から 4 回の幅を持たせ、時間も来館者の多い時間帯に合わせて実施した。
客 数 81,582 人 (うち「秋の伝統芸能ウィーク」3,893 人、「正月公演」6,221 人)
内 容 伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室 5 階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲

芸などを実演した。内容については新緑寄席やひまわり寄席ではファミリー向けの太神楽やジャグリングなどを中心とした構成とし、特にひまわり寄席では夜間開館にあわせ、講談による怪談を実施するなど、特集的な要素を盛り込んだ。紅葉寄席では芸術の秋に合わせて落語などじっくり聞かせる演目とした。さらに今年度も、学校団体の多い11月の平日に児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、教育普及プログラムの一環として、事業の充実を図った。正月には恒例のからくり公演をはじめ、箏曲演奏、獅子舞など正月らしい催事や公式マスコットキャラクター「ギボちゃん」との記念撮影などを実施した。3月後半の土日、祝日と開館記念日には、ファミリー寄席として、太神楽、紙切り、曲独楽、奇術、邦楽演奏など多彩な内容の公演を行った。

[実績一覧] 日付の前、無印は通常のえどはく寄席、☆印は伝統芸能ウィーク、★は正月の催しを各々表す。

日付	演目	出演者	観客数
4月4日	尺八・箏	大山潤一・神谷舞	622
4月5日	太神楽・曲独楽	鏡味初音・やなぎ南玉	823
4月25日	箏	明日佳・谷富愛美	560
4月26日	奇術・面白音楽	伊藤夢葉・めおと楽団ジギキ	731
4月29日	太神楽・曲独楽	鏡味正二郎・やなぎ南玉	1319
4月30日	紙切り・太神楽	林家花・鏡味正二郎	1276
5月1日	面白音楽・奇術	めおと楽団ジギキ・北見翼	1111
5月2日	面白音楽・奇術	めおと楽団ジギキ・北見翼	1272
5月3日	紙切り・太神楽	林家花・鏡味初音	1988
5月4日	紙切り・太神楽	青空麒麟児・鏡味初音	1897
5月5日	太神楽・ヴァイオリン漫談	鏡味初音・マグナム小林	1594
5月6日	面白音楽・ヴァイオリン漫談	めおと楽団ジギキ・マグナム小林	1322
5月9日	紙切り・奇術	青空麒麟児・北見翼	1343
5月10日	紙切り・太神楽	青空麒麟児・翁家喜楽-喜乃	1512
5月16日	箏	明日佳・谷富愛美	619
5月17日	太神楽・奇術	丸一小助-小時・伊藤夢葉	718
5月23日	尺八	田嶋謙一・田辺道恵	620
5月24日	紙切り・曲独楽	青空麒麟児・やなぎ南玉	675
6月13日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	677
7月11日	江戸芸かつぼれ	櫻川ぴん助社中	735
7月18日	太神楽・落語・講談	鏡味初音・三遊亭遊吉・神田松鯉	899
7月19日	箏	明日佳・谷富愛美	787
7月20日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	799
7月25日	奇術・落語・講談	伊藤夢葉・柳亭楽輔・神田紫	861
7月26日	箏	明日佳・谷富愛美	731
8月1日	ヴァイオリン漫談・落語・講談	マグナム小林・桂伸治・神田松鯉	
8月2日	津軽三味線・尺八	白田路明・田嶋謙一	820
8月8日	奇術・曲独楽・講談	北見翼・やなぎ南玉・神田松鯉	1575

8月9日	紙切り・モダン曲芸	林家今丸・ボンボンブラザーズ	1640
8月10日	太神楽・曲独楽	鏡味正二郎・やなぎ南玉	1370
8月11日	太神楽・奇術	鏡味味千代・伊藤夢葉	1726
8月12日	紙切り・曲独楽	林家花・やなぎ南玉	1732
8月13日	紙切り・モダン曲芸	林家花・ボンボンブラザーズ	1852
8月14日	太神楽・奇術	鏡味正二郎・北見翼	1913
8月15日	太神楽・紙切り・講談	鏡味味千代・林家今丸・神田陽子	2004
8月16日	モダン曲芸・曲独楽	ボンボンブラザーズ・やなぎ南玉	1475
8月22日	紙切り・落語・講談	青空麒麟児・柳家蝠丸・神田紫	923
8月23日	箏	明日佳・谷富愛美	658
8月27日	太神楽・落語	丸一小助・小時・桂歌助	662
8月28日	箏	谷富愛美・明日佳	623
8月29日	動物ものまね・落語・講談	江戸家まねき猫・山遊亭金太郎・神田陽子	1096
8月30日	箏	藤木久実・明日佳	686
9月12日	江戸芸かっぽれ	櫻川ぴん助社中	723
9月19日	箏	明日佳・大嶋礼子	934
9月20日	紙切り・落語	林家花・三遊亭圓丸	1,359
9月21日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	1,547
9月22日	奇術・落語	北見翼・柳家蝠丸	1,434
9月23日	箏	柿木原こう・石田真奈美	997
9月26日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	896
9月27日	太神楽・落語	鏡味初音・桂小南治	1,145
10月3日	箏	明日佳・谷富愛美	911
10月4日	紙切り・落語	青空麒麟児・春風亭柳之助	953
10月10日	箏	明日佳・谷富愛美	985
10月11日	太神楽・落語	鏡味味千代・桂伸治	1,266
10月12日	尺八・津軽三味線	田嶋謙一・白田路明	988
10月17日	津軽三味線	白田路明・匹田大智	963
10月18日	箏	柿木原こう・渡部裕子	799
☆11月10日	津軽三味線	柴田雅人・柴田佑梨・白田路明	476
☆11月11日	尺八	田嶋謙一・遠藤直幸・佐藤公基	459
☆11月12日	尺八	田嶋謙一・遠藤直幸・田辺道恵	362
☆11月13日	津軽三味線	匹田大智・永村幸治・白田路明	597
11月14日	江戸芸かっぽれ	櫻川ぴん助社中	677
☆11月17日	落語	桂伸治	477
☆11月18日	落語	桂南なん	501
☆11月19日	落語	山遊亭金太郎	512
☆11月20日	落語	土橋亭里う馬	509
12月12日	江戸芸かっぽれ	櫻川ぴん助社中	660
★1月2日	からくり実演	夢からくり一座	1,712
★1月3日	からくり実演	夢からくり一座	1,605
★1月4日	からくり実演	夢からくり一座	880
★1月6日	からくり実演	夢からくり一座	680

★1月7日	からくり実演	夢からくり一座	680
★1月8日	からくり実演	夢からくり一座	654
1月9日	奇術・落語	北見翼・桂歌助	620
1月10日	紙切り・落語	林家花・桂伸治	690
1月11日	太神楽・落語	鏡味味千代・山遊亭金太郎	650
2月13日	江戸芸かっぽれ	櫻川ぴん助社中	705
3月12日	江戸芸かっぽれ	櫻川ぴん助社中	621
3月19日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	659
3月20日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	713
3月21日	津軽三味線	柴田雅人・匹田大智	650
3月26日	太神楽・紙切り	鏡味初音・青空麒麟児	650
3月27日	奇術・曲独楽	伊藤夢葉・やなぎ南玉	680
3月28日	奇術・紙切り	藤山大樹・林家花	610

5 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

ふれあい体験教室実施数 62件

ふれあい体験教室参加者数 2,807人

〔実績一覧〕

日 程	内 容	人 数
4月4日	和算のひみつ	40
4月4日	反古紙で折る小物	74
4月25日	ときめきキモノ体験	23
5月2日	藍染め体験教室	50
5月2日	手描き風鈴を作ろう	20
5月2日	みんなで遊ぼう！昔遊び	200
5月2日	リリアンで遊ぼう	28
5月3日	祭り茶席	40
5月3日	歴史散歩「広重の名所百景（両国）今昔」	26
5月16日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	195
5月16日	扇子遊びをしましょう	35
5月30日	江戸文様で遊ぼう	80

5月30日	歴史散歩「三田・高輪」	18
6月6日	水無月茶席	46
6月6日	和算のひみつ	26
6月6日	反古紙で折る小物	44
6月20日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	130
7月4日	和算のひみつ	22
7月4日	反古紙で折る小物	45
7月25日	歌舞伎の化粧をしてみよう（子供向け）	11
7月25日	ときめきユカタ体験	27
7月31日	江戸切子体験教室	19
8月1日	江戸切子体験教室	37
8月1日	和算のひみつ	22
8月1日	反古紙で折る小物	24
8月8日	藍色のブローチをつくろう	52
8月16日	浮世絵摺り体験教室	23
8月22日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	140
8月23日	親子で作ろう「回転人形」	12
8月29日	ときめきユカタ体験	32
9月12日	万華鏡で遊ぼう	14
9月19日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	130
9月19日	扇子遊びをしましょう	40
9月26日	藍染め体験教室	51
9月26日	歴史散歩「雑司が谷から早稲田ー未来遺産登録の地ー」	19
10月3日	神無月茶席	45
10月3日	和算のひみつ	22
10月3日	反古紙で折る小物	58
10月4日	おりがみで遊ぼう	30
10月10日	ときめきキモノ体験	16
10月17日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	130
11月7日	藍色ハンカチでクリスマスミニリースをつくろう	50
11月8日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	13
11月14日	歴史散歩「早稲田～神楽坂」	13
11月28日	万華鏡で遊ぼう	17

11月28日	ぼち袋を摺ろう	16
12月5日	和算のひみつ	25
12月5日	反古紙で折る小物	65
12月5日	師走茶席	43
1月9日	和算のひみつ	23
1月9日	反古紙で折る小物	40
1月16日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	150
1月16日	扇子遊びをしましょう	25
1月17日	オリジナル紙独楽をつくろう	45
1月23日	ときめきキモノ体験	29
2月6日	如月茶席	44
2月27日	ときめきキモノ体験	21
3月5日	和算のひみつ	20
3月5日	反古紙で折る小物	33
3月5日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	17
3月6日	浮世絵を組み立てよう	5
3月26日	万華鏡で遊ぼう	17

6 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時30分

回 数 計50回

参加者数 1470人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人 数
4月3日	江里口 友子	リニューアル記念企画展特別公開 広重 「名所江戸百景」展みどころ	42
4月10日	江里口 友子	リニューアル記念企画展特別公開 広重 「名所江戸百景」展みどころ	55
4月17日	橋本 由起子	市民文化と娯楽	35
4月24日	橋本 由起子	市民文化と娯楽	32
5月1日	田原 昇	江戸城と町割り	44
5月8日	田原 昇	江戸城と町割り	86
5月15日	遠藤あかね	江戸の美	26

5月22日	遠藤あかね	江戸の美	19
5月29日	阿部 由紀洋	高度経済成長の東京	13
6月5日	阿部 由紀洋	高度経済成長の東京	15
6月12日	丸山 はるか	芝居と遊里	20
6月19日	丸山 はるか	芝居と遊里	16
6月26日	小酒井 大悟	江戸から東京へ	23
7月3日	吉田 奈緒子	町の暮らし	47
7月10日	担当者 (文化庁)	企画展「発掘された日本列島 2015」展 みどころ	45
7月17日	担当者 (文化庁)	企画展「発掘された日本列島 2015」展 みどころ	48
7月24日	小酒井 大悟	江戸から東京へ	26
7月31日	小酒井 大悟	江戸から東京へ	25
8月7日	小山 周子	文明開化東京	19
8月14日	小山 周子	文明開化東京	35
8月21日	真下 祥幸	企画展「くらべてみよう 江戸時代」展 みどころ	71
8月28日	真下 祥幸	企画展「くらべてみよう 江戸時代」展 みどころ	29
9月4日	真下 祥幸	企画展「くらべてみよう 江戸時代」展 みどころ	30
9月11日	杳沢 博行	モダン東京	35
9月18日	新田 太郎	現代の東京	22
9月25日	新田 太郎	現代の東京	24
10月2日	真下 祥幸	江戸の商業	20
10月9日	真下 祥幸	江戸の商業	14
10月16日	小酒井 大悟	町の暮らし	28
10月23日	小酒井 大悟	町の暮らし	31
10月30日	橋本 由起子	市民文化と娯楽	18
11月6日	橋本 由起子	市民文化と娯楽	20
11月13日	落合 則子	企画展「市民からのおくりもの」展みど ころ	15
11月20日	栗屋 朋子	企画展「市民からのおくりもの」展みど ころ	32
11月27日	小林 愛恵	江戸の四季と盛り場	22
12月4日	小林 愛恵	江戸の四季と盛り場	30
12月11日	長屋 さくら	芝居と遊里	24
12月18日	長屋 さくら	芝居と遊里	25
1月8日	野本 禎司 (公益財団法人 徳川記念財団専任研究員)	企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筭」 展みどころ	13
1月15日	行田 健晃 (公益財団法人 徳川記念財団専任研究員)	企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筭」 展みどころ	15
1月22日	小酒井 大悟	企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筭」 展みどころ	45

1月29日	真下 祥幸	江戸と結ぶ村と島	27
2月 5日	真下 祥幸	江戸と結ぶ村と島	17
2月 12日	白井 麻美	高度経済成長期の東京	20
2月 19日	白井 麻美	高度経済成長期の東京	23
2月 26日	杉山 哲司	江戸城と町割り	45
3月 4日	杉山 哲司	江戸城と町割り	25
3月 11日	津田 紘子	現代の東京	21
3月 18日	津田 紘子	現代の東京	18
3月 25日	田中 祐二	企画展「近代百貨店の誕生 三越呉服店」 展見どころ	40

7 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館233名、分館188名体制により、本館では9,671件のガイド、分館では茅葺き農家煙煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（平成28年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 172名

ふれあいボランティア 61名（この内、展示ガイドとの兼任23名）

合計（延べ人数） 233名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日15人程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間62回の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内

日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール語、スペイン語。

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成27年4月～28年3月）

外国語による案内件数 4,132件

日本語による案内件数 3,487件

団体事前案内件数 0件

スポット解説 52件

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数 8回

研修参加者数（延べ人数） 375人

- (2) 分館ボランティア
- ①ボランティア活動
- ・登録人数（平成28年3月31日現在） 188名
 - ・茅葺民家の燻煙・園内ガイド
 - ・たてもの園事業への協力
 - ・自主活動
- ②こどもボランティアひじろっ子
- ・活動人数 21人 夏季
 - ・民家の拭き掃除、ガイドなど

8 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 23校

受入者数 20名

期間 平成27年8月26日（水）～9月3日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月26日 (水)	午前	【オリエンテーション】事業企画課長挨拶、展示事業係長挨拶、実習担当者紹介、実習生自己紹介、諸注意、保険料徴収		展示事業係
			【常設展示・教育普及活動①】教育普及活動、ボランティア	講義	展示事業係
		午後	【常設展示見学】	見学	展示事業係
			【常設展示・教育普及活動②】教育普及活動、ボランティア	講義	展示事業係
			【博物館の現状と課題】	講義	展示事業係
	【事務連絡】たてもの園実習について		展示事業係		
2	8月27日 (木)	午前	【たてもの園の概要】	講義	たてもの園係
			【たてもの園の普及事業】	講義	たてもの園係
			【たてもの園見学】	見学	たてもの園係
		午後	【普及事業の立案】立案作成のための説明	講義	たてもの園係

			【普及事業の立案】立案、発表、講評	実習	たてもの園係
			【事務連絡】		たてもの園係
3	8月28日(金)	午前	【資料の収集と保管】	講義	資料係
			【バックヤード・収蔵庫見学】	見学	資料係
		午後	【資料の収集と保管】資料情報カードの作成	実習	展示事業係
			【事務連絡】展示実習について		展示事業係
4	9月1日(火)	午前	【展示実習Ⅰ】グループワーク(展覧会基本計画の立案・施工デザイン・チラシ作成・調査解説)	実習	展示事業係
		午後	【展示実習Ⅰ】図書室の使い方説明、グループワーク	実習	都市歴史研究室 展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
4	9月2日(水)	午前	【展示実習Ⅰ】グループワーク	実習	展示事業係
		午後	【展示実習Ⅰ】グループワーク	実習	展示事業係
			【展示実習Ⅱ】展示準備(演示具選定、キャプション作成)	実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
5	9月3日(木)	午前	【展示実習Ⅱ】展示作業(資料搬入、演示具搬入、展示作業)	実習	展示事業係
		午後	【展示実習Ⅱ】展示作業、発表、講評、片付け	実習	展示事業係
			【館長講義】	講義	展示事業係
			【学芸員実習まとめ】反省会、事業企画課長挨拶、事務連絡		展示事業係

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

① 訪問学習の実施

博学ボランティア(7名)による歴史学習への対応

参加人数 251人

参加学校数 33校 (小学校 0、中学校 32、高等学校 1、大学 0)

② 職場訪問の実施

参加人数 147人

参加学校数 25校 (中学校22、高等学校3)

(3) その他の研修受入れ

首都大学東京現場体験型インターンシップ 平成 27 年 8 月 18 日 (火) ~8 月 20 日 (木)
(3 名)

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成27年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時	平成27年7月17日（金）14時00分から16時00分まで
場 所	事務棟2階 会議室
内 容	1 平成26年度事業実績について 2 東京都江戸東京博物館運営委員会 江戸東京たてももの園復元建造物部会の設置及び第1回部会の開催について 3 今年度の日中韓博物館 国際交流事業について 4 その他

○平成27年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時	平成28年3月22日（火）14時00分から16時00分まで
場 所	事務棟2階 会議室
内 容	1 副会長の指名 2 平成28年度基本方針及び事業計画について 3 平成27年度入館者数目標達成率 4 平成27年度第2回江戸東京たてももの園復元建造物部会実施報告 5 その他

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成28年3月末現在）

会 長	藤 森 照 信	（東京大学名誉教授）
副委員長	市 村 佑 一	（江戸川大学学長）
委 員	池 山 世津子	（渋谷区子ども総合支援センター長）
委 員	伊 東 孝	（産業考古学会会長）
委 員	薄 井 和 男	（神奈川県立歴史博物館館長）
委 員	熊 倉 功 夫	（静岡文化芸術大学学長）
委 員	久留島 浩	（国立歴史民族博物館館長）
委 員	越 澤 明	（北海道大学名誉教授）
委 員	坂 本 正 彦	（全国小学校社会科研究協議会推薦 世田谷区立共同小学校校長）
委 員	峰 岸 純 夫	（首都大学東京名誉教授）
委 員	山 本 与志春	（東京都私立中高等学校協会推薦 青山学院常務理事）
委 員	吉 見 俊 哉	（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

○平成27年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時 平成27年6月5日（金）13時30分から15時00分まで
場 所 江戸東京たてもの園 会議室

(1) 審議事項

- ・ 野外収蔵対象建造物等の選定提案候補について
- ・ 江戸東京たてもの園収蔵建造物の修理方針について

○平成27年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時 平成28年2月12日（金）10時00分から12時00分まで
場 所 江戸東京たてもの園 会議室

(1) 審議事項

- ・ 江戸東京たてもの園収蔵建造物「丸二商店」の修理計画

(2) 報告事項

- ・ 野外収蔵対象建造物等の通報
- ・ 平成27年度修理工事の報告
- ・ 平成27年度保守点検調査中間報告

(3) その他

- ・ 復元建造物の維持管理に関する提案等

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会専門委員（平成28年3月末現在）

部 会 長 中 谷 礼 二（早稲田大学理工学術院建築学科教授）

専 門 委 員 津 村 泰 範（株式会社文化財保存計画協会主任研究員）

専 門 委 員 山 崎 鯛 介（東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授）

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

当該年度末までの事業実績を評価の対象とするよう改善をはかり、最終の委員会は年度明けの4月に開催する。

○ 平成27年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

日 時 平成27年6月15日（月）午後3時から午後4時30分
場 所 事務棟2階 会議室
内 容 1 平成26年度外部評価総合評定について
2 平成27年度事業計画について

第2回

日 時 平成28年4月26日（火）午前10時から午後12時
場 所 事務棟2階 会議室
内 容 平成27年度外部評価 評定について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

委 員 長 半 田 昌 之（日本博物館協会専務理事）

委 員 梶 中 勇（江戸東京博物館友の会会長）

委 員 松 尾 正 人（中央大学教授）

委員 松田 幸雄 (株緑山スタジオ・シティ常務取締役)
委員 村田 孝子 (ポーラ文化研究所 研究員)

○平成27年度江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日時 平成27年6月25日(木) 午前10時30分から午後12時00分
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 1 平成26年度外部評価総合評定について
2 平成27年度事業計画について

第2回

日時 平成28年5月12日(木) 午前10時30分から午後12時00分
場所 江戸東京たてもの園 会議室
内容 平成27年度外部評価 評定について

○江戸東京たてもの園外部評価委員会委員(平成28年3月末現在)

委員長 陣内 秀信 (法政大学教授)
委員 内田 青蔵 (神奈川大学教授)
委員 中島 清文 (三鷹の森ジブリ美術館館長)
委員 西田 剛 (小金井市教育委員会生涯学習部長)
委員 馬場 憲一 (法政大学教授)

(3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、(公財)東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理(株)及びアサヒビール(株)三者間の総合調整を行った。

○平成27年度コンソーシアム運営協議会

第1回

日時 平成27年7月28日(火) 14時00分から15時00分まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成26年度運営実績報告及び決算について
2 平成27年度コンソーシアム運営方針(案)について
3 平成27年度「東京都江戸東京博物館指定管理者」共同連合体協定書第9条に係る覚書(案)について
4 日中韓国際シンポジウムについて
5 その他

第2回

日時 平成28年3月29日(火) 15時から16時まで
場所 事務棟2階 会議室
内容 1 平成28年度事業運営方針について
2 時間貸し駐車場に係る業務分担の変更について
3 平成28年度「東京都江戸東京博物館指定管理者」共同連合体協定書第9条に係る覚書(案)について
4 その他

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し貸出した日数は、次のとおりであった。

ホール224日、会議室188日、学習室（合計）391日、その他の施設（合計）380日、特別展示室255日

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、学校団体などへの事前ガイドや視察時の会場、国際シンポジウムの会場として使用した。

（1）映像ホール

入場者実績 39,512人

	利用目的	内 容	入場者実績
1	ボランティアガイド	学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明・館内の案内映像を放映	2,355人
2	視察対応	外部団体や大学、海外要人・機関等への館概要説明	201人
3	国際シンポジウム	館事業「国際シンポジウム」会場として利用	231人
4	企画上映	特別展・企画展に関連した映像や季節にふさわしい映像を放映。	36,725人

27年度企画上映プログラム

3月4日（火）～5月11日（日）
<p>企画上映①特別展「大江戸と洛中」関連映像 「寛永の江戸 日本橋と江戸城」 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「東京の下町と山の手」 1992年/東京都江戸東京博物館</p> <p>企画上映②行ってみよう！東京の名勝特集 「東京の庭園1 江戸の庭園 六義園・箱根山」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>作 「東京の庭園2 江戸の庭園 後樂園・浜離宮」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>作</p> <p>企画上映③季節を満喫する！春編 「みわたせば桜桜桜」 1993年/東京都映画協会 「春の隅田川めぐり」 1986年/東京都映画協会</p>
5月26日（火）～7月20日（月・祝）
<p>企画上映①常設展示室リニューアルオープン！新コーナー関連映像 「江戸の二大水道」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②企画展「発掘された日本列島展」関連映像 「未来を掘る 櫛田遺跡群」 1976年/東京都映画協会制作 「土器と老人」 1974年/東京都映画協会制作</p> <p>企画上映③特別展「花燃ゆ展」関連映像 「江戸から東京へ1」 1961年/東京都映画協会制作 「歴史を語る建造物1」 1992年/東京都江戸東京博物館制作</p>
7月22日（火）～9月27日（日）
<p>企画上映①特別展「徳川の城」関連映像 「狩野派の十九世紀～江戸城を彩る～」 2003年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②常設展示室リニューアルオープン！関連映像 「浮世絵版画の複製」 1993年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映③企画展「くらべてみよう江戸時代」関連映像 「江戸の教育」 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「遊べ 子供たち」 1974年/東京都映画協会制作</p>
9月29日（火）～12月6日（日）
<p>企画上映①特別展「浮世絵から写真へ」関連映像 「浮世絵の摺師」 1965年/東京都映画協会制作 「絵画に見る江戸東京3 水辺の風景—近代—」 1964年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>企画上映②企画展「市民からのおくりもの2015」関連映像 「映像で綴る東京の昭和 第12巻 東京オリンピック」 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「東京・街あるき 8 隅田川散歩 橋と川のものごたがり」 1995年/東京都江戸東京博物館制作</p> <p>「映像で綴る東京の昭和 第3巻 モダン東京」</p>

企画上映③常設展示室リニューアルオープン！関連映像 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「田園調布の家 大川邸」 1995年/東京都江戸東京博物館制作
12月8日（火）～3月18日（金）
企画上映①企画展「歴史をつなぐ天璋院の用筆筒」関連映像 「勝海舟ゆかりの史跡をたずねて」 1999年/東京都江戸東京博物館制作 「歴史を語る建造物3 徳川家ゆかりの社寺」 1995年/東京都江戸東京博物館制作
企画上映②江戸東京の建築関連映像 「東京型銭湯 子宝湯」 1993年/東京都江戸東京博物館制作 「下町の居酒屋 鍵屋」 1993年/東京都江戸東京博物館制作
企画上映③文化財関連映像 「文化財保存修理技術者の仕事―掛軸の修復―」 2003年/東京都江戸東京博物館制作
3月19日（土）～6月3日（金）
企画上映①江戸東京博物館開館日（3/28）関連映像 「江戸東京博物館のできるまで」 1993年/東京都産業労働局制作
企画上映②企画展「近代百貨店の誕生 三越呉服店」関連映像 「映像で綴る東京の昭和 第3巻 モダン東京」 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「銀座八丁」 1964年/東京都映画協会制作
企画上映③特集：東京さんぽ 「変化する身近な風景2 東京の坂道」 1992年/東京都江戸東京博物館制作 「東京の庭園2 後楽園・浜離宮」 1992年/東京都江戸東京博物館制作

※企画上映①…10時30分～/13時30分～/16時30分～、企画上映②…11時30分～/14時30分～/17時30分～（土曜日のみ）、企画上映③…12時30分～/15時30分～

(2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（14人利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	15,001回（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

「映像ライブラリー」では、企画展や年中行事等に合わせて毎月5作品ずつ「おすすめ作品」を選定している。館内各種案内映像とちらしで紹介し、利用の活性化を図っている。

IX 広報事業

1 本館

種 別	名 称	実 績
館内案内	江戸東京博物館案内リーフレット	<p>常設展リニューアルにあわせ、デザイン・内容を改訂し、より分かりやすく親しみやすいリーフレットとした。</p> <p>日本語版 450,000部 英語版 150,000部 中国語版（簡体字・繁体字） 各 20,000部 韓国語版 20,000部 フランス語版 10,000部 ドイツ語版 2,000部 スペイン語版 2,000部 合計 674,000部</p>
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	<p>平成27年度より新たに英語版を発行を実施した。年4回発行。</p> <p>日本語版 計 280,000部 英語版 計 80,000部</p>
取材対応		<p>新聞・テレビ番組などによる取材に対応した</p> <p>対応件数 430件</p>
インターネットホームページ	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	<p>平成27年3月27日より、常設展リニューアルにあわせ、デザイン・内容を改訂し、わかりやすく魅力的なHPとした。また、外国語の内容を充実させた。</p> <p>アクセス件数 9,867,926件</p>
スマートフォンサイト	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	<p>平成27年3月27日より、スマートフォンのサイトを新設した。</p>
メールマガジンの配信	江戸東京博物館ニューズレター	<p>年12回配信 47,675通</p>
その他の広報	PR活動	①企画展プレス内覧会の実施 5回
	チラシ・ポスターの発行（夏休みイベント）	①夏休みイベント チラシ 80,000部 ポスター 300部 ②正月イベント チラシ 150,000部 ポスター 800部

	有料広告の出稿	①すみだTOWN情報紙アベニュー、「江戸楽」等 各12回掲載 ②常設展リニューアルオープン 新聞5紙、雑誌2誌、折込広告、交通広告（駅貼り・中吊り）
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数6,400人 開館10周年記念で制定された公式キャラクター「ギボちゃん」によるツイッターを即時性の高い広報ツールとして活用した。
	公式キャラクター「ギボちゃん」の活用	夏休み等の館内イベントに登場させるだけでなく、「両国にぎわい祭り」、墨田区主催「すみだまつり・子どもまつり」など外部イベントでも活動を行った。
	外国人対象の広報	CNNj・はとバスでのCM出稿 台湾でのWebアンケート実施 TCVB主催の商談会への参加 等

2 分館

【印刷物の作成】

種 別	名 称	実 績	
館内案内 ガイド	江戸東京たてももの園 案内リーフレット	日本語版	250,000部
		英語版	10,000部
		中国語版(簡体字)	3,000部
		韓国語版	3,000部
		合計	266,000部
定期刊行物	たてももの園だより	年2回	延50,000部
	事業案内チラシ	年4回	延372,000部
施設紹介 ガイド(外国 語)	江戸東京たてももの園紹介 チラシ	英語版	15,000部
		中国語版(簡体字)	7,500部
		韓国語版	7,500部
		合計	30,000部

【ホームページ・SNSの活用】

- (1) ホームページアクセス件数（平成28年3月末現在）2,074,100件
- (2) スマートフォンサイトアクセス件数（平成28年3月末現在）417,027件
- (3) ツイッターフォロワー数（平成28年3月末現在）8,962人
- (4) ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月3日	江里口友子	名所江戸百景 品川御殿やま	桜名所 ありのまま描写
2	4月17日	齋藤慎一	関ヶ原合戦絵巻	天下分け目の経過描く
3	4月24日	江里口友子	名所江戸百景 上野山内月のまつ	枝の輪 覗くと火見櫓
4	5月15日	齋藤慎一	義演書状案	秀吉の病状伺わせる草案
5	5月29日	真下祥幸	駿河町越後屋之景	祭と大店 贅沢なコラボ
6	6月5日	小酒井大悟	東京高輪海岸蒸気車鉄道の図	新橋へ続く海上線路
7	6月19日	吉田奈緒子	棟割長屋模型	江戸庶民の暮らしを体感
8	6月26日	田原昇	湯島聖堂図	勤務先の情景生き生きと
9	7月3日	小山周子	高輪牛町隴月景	光と影 新しい洋風版画
10	7月17日	小酒井大悟	西洋式溶鉱炉	日本の近代化物語る遺構
11	7月24日	阿部由紀洋	ひばりが丘団地模型	戦後の住まい 新たな形
12	7月31日	杳沢博行	手回し映写機	映画館気分 家庭でも
13	8月28日	橋本由起子	軍事郵便 タカノヨシエチャン宛 タカノイチロウより	戦地から愛する娘へ
14	9月4日	齋藤慎一	江戸城本丸表の図	絵画彩る 幕府の中核
15	9月11日	真下祥幸	見立番付「諸国名所附」	日本の名所をランキング
16	9月18日	齋藤慎一	大坂城石垣普請大名工区割図	幕府の威信かけた再建
17	10月16日	丸山はるか	市川海老蔵 江戸着の口上	故郷のファンにあいさつ
18	10月23日	我妻直美	東京名所四十八景 柳原写真所三 階より御茶の水遠景	伝統の錦絵「流行」描く
19	10月30日	落合則子	京浜地方就学旅行日記	夢の旅路 鮮明につづる
20	11月6日	杉山哲司	日光御遷座式図巻	家康遺命 「権威」の行列
21	11月20日	岡塚章子	丸善株式会社東京本社天長節記念	貴重な休日 全社員で1枚
22	11月27日	西村直子	萌黄羅紗地レクシオン羽織	武士の装束 和洋折衷
23	12月4日	小林愛恵	六十余州名所図会 江戸 浅草市	年越し準備 動き出す町
24	12月11日	新田太郎	大江戸線おためし券 大江戸線全 線	PR用 沿線企業・学校へ
25	1月22日	長屋さくら	劇場訓蒙図彙 第二巻	芝居小屋 にぎわいの光景
26	2月5日	小林愛恵	江戸名所 亀戸梅屋舗	梅見 早春の愉しみ
27	2月26日	白井麻美	ドレスメーカーパタンブック 第 6号	世界の流行に心躍らせて
30	3月25日	杉山哲司	甲冑着用備双六	ゲームで学ぶ武士の嗜み